

北九州市公共事業評価に関する検討会議及び 市民意見を踏まえた市の対応方針

事業名	【事前評価2】 響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業
-----	-------------------------------------

北九州市
令和8年2月

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針
(対象事業：響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業)

【対応方針】

計画通り実施

【対応方針決定の理由】

国際村交流センターは、響ホールや生涯学習センター等からなる複合施設で、多くの市民に利用されている。

また、響ホールは北九州市で唯一の音楽専用ホールで、演奏家からも高い評価を得ており、市民に質の高い音楽芸術に触れる機会を提供している。

一方で、建築後30年以上が経過し、全館にわたり老朽化等による雨漏りなどが発生し、これに起因する天井パネルの落下も発生している。

また、ホール天井やエレベータは改正された建築基準法施行令に対して既存不適格の状況となっている。

こうした状況を踏まえ、本事業では、国際村交流センター全体の屋上と外壁の防水改修、共用設備の更新を行うとともに、響ホールの特定天井の改修、バリアフリー化等を内容とする大規模改修を実施することで、利用者の安全を確保し、施設を適切に維持していくこととしている。

なお、公共事業評価に関する検討会議では、「本事業を計画どおり進めることについて異議は無い」とされ、事業実施にあたって留意すべき点が意見として挙げられた。

これらを踏まえ、事業概要及び検討会議の意見を踏まえた市の対応方針案について市民意見を募集した結果、事業全般や、工事内容等について、事業を推進するうえで参考となる意見が複数提出されたが、計画の修正が必要となるものはなかった。

以上のことから、検討会議で示された留意点を踏まえ、計画のとおり事業を実施することとする。

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
 (対象事業：響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業)

市の対応方針（案）	
計画通り実施	

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 事業費が増額する場合の対応について	壁面からの湧水対策についてはなるべく早く工法の検討を行うとともに、昨今の物価高騰によって事業費が大幅に増額する場合は、改修内容を一部見直すことも含めて検討していただきたい。	実施設計で詳細な調査を行い、技術面、経済性等を考慮して、最も効果的な改修となるよう、検討してまいりたい。
(2) バリアフリー化について	誰もが使いやすい施設となるよう、改修にあたっては更なる工夫をしていただきたい。	施設内のトイレ改修やサインの見直しなど、誰もが使いやすい施設を目指して、ユーザー目線で検討を進めてまいりたい。
(3) 施設の付加価値を向上させる取組みについて	収益性や北九州市、施設のイメージを高めるため、施設の付加価値を向上させる取組みを検討していただきたい。	来場者の満足度を更に高め、また、演奏家に選ばれるホールとなるための、ハード、ソフト両面からの取組を進め、施設の魅力を高めてまいりたい。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業：響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業)

令和7年12月24日から令和8年1月23日まで実施いたしました「響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業」に対する市民意見募集におきましては、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見の概要及びこれに対する本市の考え方を次のとおり公表いたします。

令和8年2月5日

■ 意見募集結果

1 実施時期 令和7年12月24日（水）から令和8年1月23日（金）まで

2 意見提出状況

(1) 提出者数 12人（電子メール6人、電子申請サービス5人、FAX1人）

(2) 提出意見数 18件

(3) 意見の内訳

分類	件数
① 事業全般に関するもの	7件
② 工事内容に関するもの	7件
③ その他	4件

(4) 事業への反映状況

分類	件数
① 改修事業で実施予定のもの	6件
② 改修事業の参考とするもの	6件
③ 改修事業には反映しないが、今後の参考とするもの	3件
④ 改修事業への追加・修正なし	3件

■ 提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方

【意見の反映状況】 ①改修事業で実施予定のもの ②改修事業の参考とするもの
 ③改修事業には反映しないが、今後の参考とするもの ④改修事業への追加・修正なし

No,	意見の概要	本市の考え方	反映状況
事業全般に関するもの			
1	老朽化していて改修が必要なことは理解できるが、事業費がかなり多いように見受けられる。大規模改修ではなく、問題がある箇所だけを直す必要最小限の修繕にとどめて、予算を抑えるべきではないか。	改修内容については、緊急性・必要性の高いものを優先し、財政負担が少なくなるように絞り込んでいます。改修費用や維持管理費用を少しでも抑えることができるよう、引き続き実施設計で検討してまいります。	①
2	「うたのまち」を掲げる北九州市において響ホールは象徴的な存在である。改修により、さらに魅力的な施設になることを期待する。	響ホールの一層の魅力向上につながるよう、利用者の利便性や快適性にも配慮した改修を進めてまいります。	①
3	老朽化による事故が起きてからでは遅いため、利用者の安全を最優先に、確実な改修をお願いしたい。 また、休館期間は施設が使えずに困るが、将来のために必要な工事で仕方がないと理解している。なるべく休館が短くなるようにしていただきたい。	当改修事業では、利用者の安全性確保を目指すとともに、複数箇所、複数工種の工事の並行実施により休館期間が最も短くなるスケジュールを予定しています。 休館中はお不便をおかけしますが、他ホールをご利用いただけるよう、必要な調整に努めてまいります。	①
4	響ホールはとても音が良いし、公演を行うアーティストも素晴らしいと思う。今後も安心して音楽を楽しめるように改修していただき、長くこのホールを残していただきたい。 改修費用はかなりかかるようだが、せっくなのでこれを機に維持管理しやすいようにしてはどうか。 環境に力を入れていた北九州市だから屋上緑化を設置したのだと思うが、雨漏りの原因になるのなら止めてもよいのではないか。 その他にも工夫して改修費用と維持管理費用が軽くなるようにしていただきたい。	屋上緑化部分については雨漏りの原因となっているため、今回の改修で撤去する予定です。 維持管理費用を抑えるため、照明のLED化などを計画していますが、改修費用と維持管理費用を抑えるための工夫について、引き続き実施設計で検討してまいります。	①

【意見の反映状況】 ①改修事業で実施予定のもの ②改修事業の参考とするもの
 ③改修事業には反映しないが、今後の参考とするもの ④改修事業への追加・修正なし

No,	意見の概要	本市の考え方	反映状況
5	<p>響ホールへの徒歩でのアクセスはあまりにもひどく、最後、直前の歩道の傾斜が一番きつい。そのため、自家用車を持っていない利用者の足が遠ざかる傾向がある。一方で、屋外を経由して響ホールの正面玄関にたどり着く方法、あるいは、空地进行をそのまま直進し、左側の急な階段を上れば響ホール正面玄関へたどり着く方法がある。</p> <p>それを改修し、また、わかりやすい案内表示を設置する、あるいは、その急な階段に手すりをつけることなどにより、少しでも楽に歩いて、響ホールに行けるのではないかと考える。</p> <p>また、工事には関係ないが、西鉄高速バス皿倉ケーブル駅停留所からのアクセスも HP に掲載し、サイン表示も設置し、福岡都市圏からの集客を増やすことも検討してはどうか。</p>	<p>実施設計にあたり、技術面や費用、効果等を含む総合的な検討の際に参考とさせていただきます。</p> <p>なお、響ホール主催事業については、開演時間にあわせて「JR 八幡駅」から「響ホール」まで無料でジャンボタクシーを運行しており、こうした取組についても周知に努めてまいります。</p>	②
6	<p>本計画は中途半端な計画に見えるため、この計画を中止して建物をすべて解体し、コストや利用目的、設置場所を再検討したうえで、建て替えをするべきである。</p> <p>また、その際、近隣の八幡東生涯学習センター尾倉分館も計画に加え、複合公共施設とするべきである。</p>	<p>施設の建て替えには多額の費用を要することに加え、既存施設は耐用年数が残っており、改修による機能回復が可能であることから、経済性を踏まえ、施設を改修する方針としております。</p>	④
7	<p>響ホールはコロナをうつす可能性があるため必要ない。皿倉山山道に近いので登山客の休憩するスペースが必要。温泉があるならば日帰り入浴、飲食する場所があれば良い。国際交流にこだわらなくても良い。アジアカーボンニュートラルセンターは必要ない。資源循環センターも必要無。屋上緑化は必要。休憩のイスが必要。照明のLED化は必要無。</p>	<p>響ホールを含む当該施設は、文化芸術の振興や環境分野を含む多用途な事業の推進の観点から、必要な施設であると考えています。</p> <p>今後も、利用者の安全性の確保や建物そのものの長寿命化を図るため、改修を進めてまいります。</p>	④

【意見の反映状況】 ①改修事業で実施予定のもの ②改修事業の参考とするもの
 ③改修事業には反映しないが、今後の参考とするもの ④改修事業への追加・修正なし

No,	意見の概要	本市の考え方	反映状況
工事内容に関するもの			
8	響ホールは音響が素晴らしいホールである。改修によって音が悪くなったりしないように、しっかりと実施していただきたい。	響ホールの改修に際しては、音響特性の維持に向け、専門業者に監修を依頼するなどして実施する方針です。	①
9	ホール本体だけでなく、トイレやロビーなどの共用部もきれいに改修されれば、来場者の満足度が大きく上がると思う。ただ、トイレの数が少なくて列ができるので減らさないようにするか、できれば増やして欲しい。	ホール本体に加え、ホワイエ（ロビー）の内装改修やトイレの衛生器具の更新、バリアフリー化など、共有部の改修についても計画しています。 なお、既存施設の改修であることから、スペースに制約があるため、トイレの数については、現状を維持する予定です。	①
10	天井をはじめ様々な改修をするのであれば、SDGsの観点から、省エネルギー性の高い「断熱性の高い建築材料やリサイクル材料」などを用いてはどうか。		
11	施設のバリアフリー化について、車イス利用者や手足に障害がある方は1人では開けられない箇所がある。（必ず付き添いが必要） また、2階の客席は昇り降りが大変な階段しか行けず、足の悪い家族と鑑賞に行く際は1階席しか選べないため、行きたい公演があっても席がなく断念することがある。手すり設置だけでは不十分と思う。 市の財政には限りがあるとのことなので、障害を持つ方すべてが満足できる施設を目指す必要はないと思うが、運営のスタッフさんではカバーできないような設備面でのハンディキャップは、このような機会に解消しなければ、長寿命化する意義が薄れ、高齢・障害者だけでなく、子育て世代などからも敬遠されるのではないかと。	実施設計にあたり、技術面や費用、効果等を含む総合的な検討の際に参考とさせていただきます。	②

【意見の反映状況】 ①改修事業で実施予定のもの ②改修事業の参考とするもの
 ③改修事業には反映しないが、今後の参考とするもの ④改修事業への追加・修正なし

No.	意見の概要	本市の考え方	反映状況
1 2	近年、google mapなどで場所を探すこともあるため、屋上の改修を行うならば、上空から見て「響ホール」であることがわかるような表示をするか、記号「音符など」を付けてはどうか。	実施設計にあたり、技術面や費用、効果等を含む総合的な検討の際に参考とさせていただきます。	②
1 3	参加者から音響や使用ピアノ（ヤマハCF3）の音に対する評価が高く、市内唯一の音楽専用ホールとして今後もクラシック殿堂として、質の高い音楽にふれる場所として、あり続けてほしい。 建物・設備の劣化もあるが、楽器や音楽備品（譜面台・イス等）の経年劣化もあることを指摘したい。 耐用年数を越えた楽器や音楽備品を出演者に使ってもらうことは演奏トラブル・故障リスクを抱えてコンサートを行うこととなり、響ホールを使うメリット、音楽専用ホールの優位性を失いかねない。 ホール使用者・演奏者のために音楽設備更新も事業に含めてほしい。	今回の改修では、老朽化等により利用者の安全確保や建物そのものの耐久性に影響を及ぼす可能性があるものを、緊急性・必要性が高い箇所として、優先的に改修を行うこととしています。楽器や音楽備品については、今回の改修の範囲外ですが、いただいたご意見を参考にさせていただき、備品や楽器についても計画的な維持管理や更新を行ってまいります。	③
1 4	敷地内で湧き水が出ているのであれば、それを厄介者扱いせず、逆に湧き水を生かした水のモニュメントなど、芸術にふさわしいものを作っても、市民は歓迎すると思う。	壁面からの湧水は、建物そのものの耐久性に悪影響を及ぼす可能性が高いため、改修を進めてまいります。	④
その他			
1 5	市外の友人たちからもうらやましがられる、音響効果に優れ、とても素晴らしい響きがかかるこのホールの価値をもっと市内外に広くPRした方がよいのではないかと見合った改修内容となることを切に願う。		
1 6	検討会議での意見において「収益性や北九州市、施設のイメージを高めるため、施設の付加価値を向上させる取組みを検討していただきたい。」旨の記述があった。改修工事に併せ、さらなるイメージアップ、付加価値向上を期待している。また、工事期間中も、単なる休館ではなくして、他の休館したホール、美術館等の事例も参考に、館外での積極的な活動を通じて、市内外へのさらなる情報発信を期待する。	改修を機にさらに多くの方にご利用いただけるよう、響ホール休館中も含め、施設のPRや公演の充実に取り組んでまいります。	②

【意見の反映状況】 ①改修事業で実施予定のもの ②改修事業の参考とするもの
 ③改修事業には反映しないが、今後の参考とするもの ④改修事業への追加・修正なし

No.	意見の概要	本市の考え方	反映状況
17	響ホールと生涯学習センターの一体的運営という観点からの改善も視野に入れていただきたい。	ご意見については、関係部署と共有し、利用者にとってより使いやすい施設運営を目指していくうえで参考とさせていただきます。	③
18	国際村交流センターに関しては、日本製鉄系の技能講習施設を誘致し、八幡を八幡らしくあるために、整備しなおすべきである。	ご意見については、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。	③

上記の公表内容は、以下の方法で入手することができます。

■ 公表文書の入手方法

1 閲覧又は配布

期間：令和8年2月5日（木）から令和8年5月7日（木）

※土・日曜日、祝日を除く。時間は9時から17時まで。

場所：都市ブランド創造局文化企画課（北九州市役所本庁舎2階）、各区役所総務企画課及び出張所、総務市民局広聴課（北九州市役所本庁舎1階）、響ホール

2 ホームページ

期間：令和8年2月5日（木）から令和9年3月31日（水）まで

アドレス：https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/265_00038.html



（問い合わせ先）北九州市都市ブランド創造局文化企画課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL 093-582-2391

FAX 093-581-5755

電子メールアドレス brand-bunkakikaku@city.kitakyushu.lg.jp